



# radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの方々。マガジン版「雲心月性」です。お楽しみください。

さて、大槻は川崎医科大学の中で川崎医学会という学内の学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生方の部屋に入る廊下などにデジタルサイネージで学内の種々のイベントや講演会などのアナウンスを提示しているのですが、毎月4枚程の写真などで川崎医学会の機関誌への論文の投稿を促すPRをしています。

2016年度の9月と10月のスライドを紹介！



この時期から友人の Ms. Keiko C の描かれたイラストも使わせてもらうようになりました。



かわいっしょ？



稲穂も見折ってきています



ムーンもきれいな季節



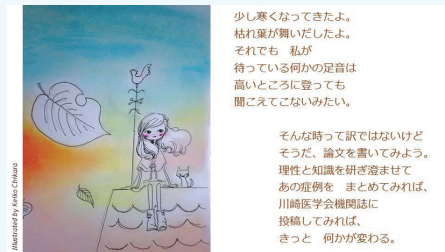
コスモスでアレンジ



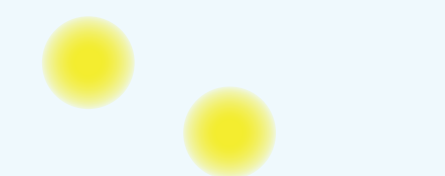
物想う秋



秋の実りや萩なども可憐



これもまた、物想う秋・・・



いかがでしょうか？ このコラムで、これからも紹介していきたいなと思っていますので是非、よろしくお願い致します。

今月の歌詞紹介。iTunes リリースしていますアルバム Scenes in Seasons より「10月の砂浜」作詞作曲：大槻剛巳

季節を 忘れた 青空に 誘われて  
浜辺まで 車を飛ばす 過ぎる風は もう  
10月  
彼方を 横切る タンカーが 震えてる

光さえ 埃を落とし 君は 少し 淋しそうさ  
肩を 抱いてみれば  
静けさが 海に 沈んでく  
夏の 笑顔が 今 君を 幻に 変えた  
10月の 砂浜は 瘦せた身体を 横たえて いる

小さな 海鳥 西の空 消えてゆく  
太陽に 追いつくことで 熱い胸が 戻るならば  
時間を 斜めに 潮風が 区切る頃  
涙さえ 知ってるように 君は 少し 腫 伏せた

髪を 梳かせながら  
張り詰めた 波が 引いてゆく  
夏の 笑顔が 今 君を 幻に 変えた  
10月の 砂浜は 瘦せた身体を 横たえて いる

頬を 寄せてみれば  
溢れる 想い 満ちてゆく  
夏の 笑顔が 今 君を 幻に 変えた  
10月の 砂浜は 瘦せた身体を 横たえて いる

♪オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで

**プロフィール** 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授  
 0歳：京都府福知山市にて生誕  
 14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
 14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
 15歳：倉敷市に転居  
 15&18歳：NHKあなたのメロディー出演  
 18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場  
 20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
 24歳：川崎医科大学卒業  
 以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事  
 1992-1996年：米国留学(医学研究)  
 1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
 2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当  
 現在に至る